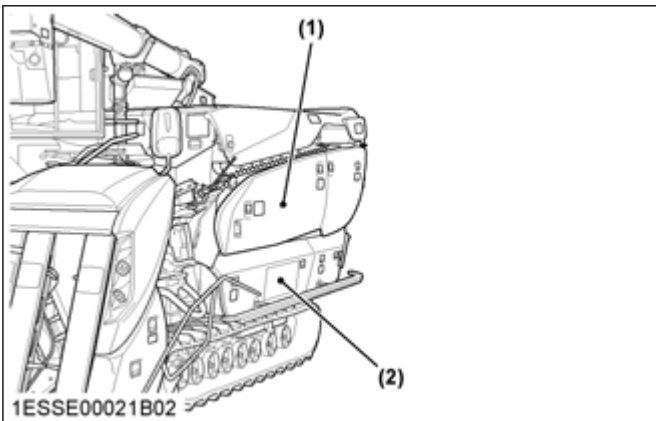


重要：

- 給油したあと、エンジンをアイドル状態で約 1 分間運転してエンジンを停止し、5 分間以上たってから、再度点検を行いオイルが不足しているときは、規定量になるまで油圧オイルタンクオイルを追加補給してください。
(油圧オイルタンクオイルの点検および補給手順 (271 ページ) を参照)

14. 脱こくギヤケースオイルの点検、補給、および交換のしかた

- 左サイドカバー上 1 および下 1 を取外します。
(左サイドカバー上 1、上 2、下 1、および下 2 の取外しかた (215 ページ) を参照)

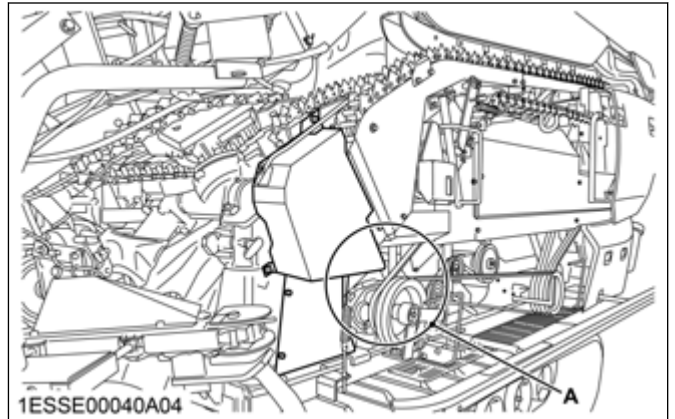


(1) 左サイドカバー上 1 (2) 左サイドカバー下 1

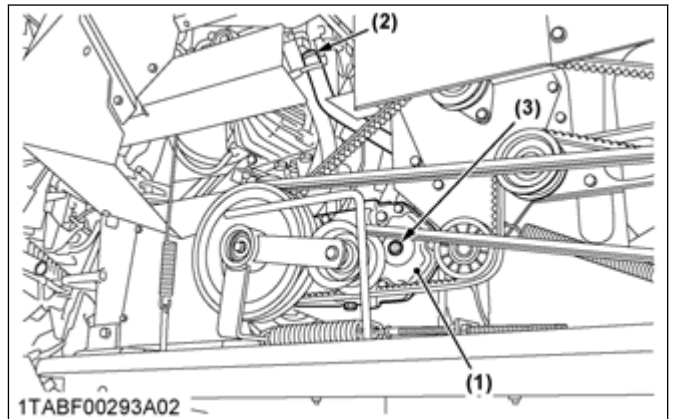
- 脱こくギヤケースのオイル量を点検し、必要であれば補給又は交換します。
(脱こくギヤケースオイルの点検および補給手順 (273 ページ) 及び脱こくギヤケースオイルの交換手順 (273 ページ) を参照)
- 点検、補給、又は交換後は、左サイドカバー上 1 および下 1 を取付けます。
(左サイドカバーの取付けかた (216 ページ) を参照)

14.1 脱こくギヤケースオイルの点検および補給手順

- 検油ボルトを外してオイル量を点検します。
オイルが検油口から出てくれば適正量です。
- オイル量が不足しているときは、給油口から規定量になるまで給油します。



A 部拡大図



(1) 脱こくギヤケース (3) 検油ボルト (検油口)
(2) 給油栓 (給油口)

オイルの種類	規定オイル容量
クボタ純オイルスーパー UDT-2	約 1.7 L

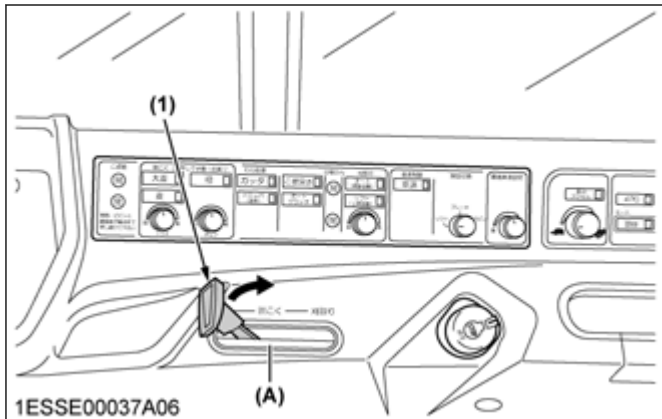
- さらに、油もれのないことも調べます。

14.2 脱こくギヤケースオイルの交換手順

- 脱こくギヤケースオイルを排油します。
(脱こくギヤケースオイルの排油のしかた (274 ページ) を参照)
- 脱こくギヤケースオイルを給油します。
(脱こくギヤケースオイルの給油のしかた (274 ページ) を参照)

重要：

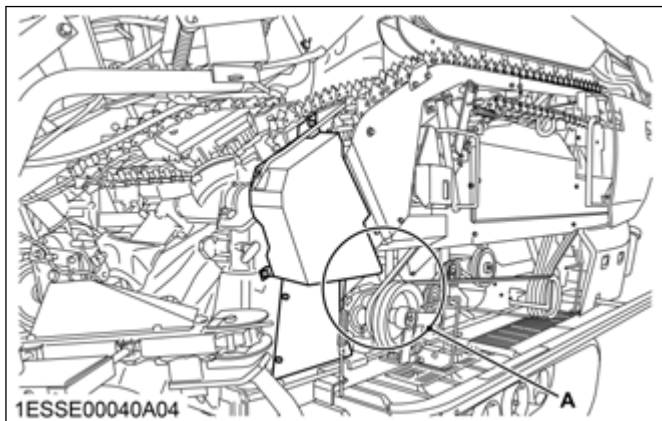
- 脱こくギヤケースオイル交換後、エンジン回転数を約 1500rpm に合わせて作業レバー (楽刈レバー) を[脱こく]位置にして、1 分間以上負荷をかけずに運転してエンジンを停止し、5 分間以上たってから再度点検を行い、オイルが不足しているときは規定量になるまで脱こくギヤケースオイルを追加補給してください。
(脱こくギヤケースオイルの点検および補給手順 (273 ページ) を参照)



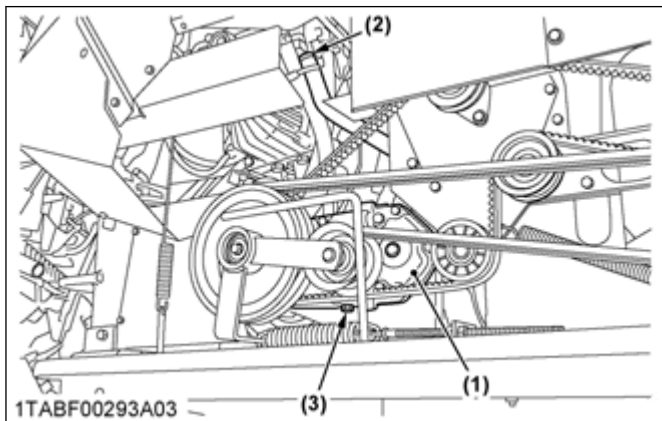
(1) 作業レバー（楽刈レバー） (A) 脱こく

14.2.1 脱こくギヤケースオイルの排油のしかた

1. 給油栓を外します。
2. 排油プラグを外し、脱こくギヤケースオイルを排出します。



A 部拡大図



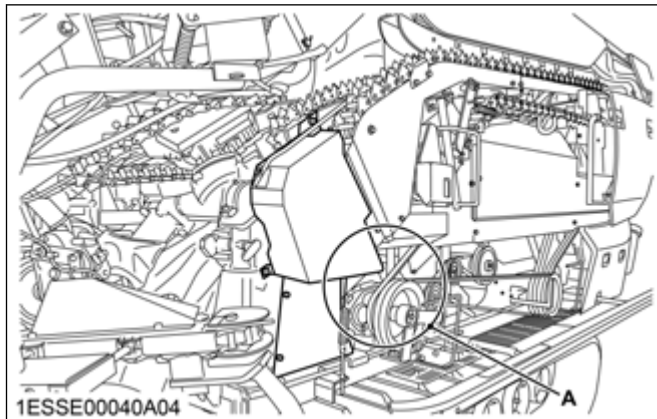
(1) 脱こくギヤケース (3) 排油プラグ（排油口）
(2) 給油栓（給油口）

14.2.2 脱こくギヤケースオイルの給油のしかた

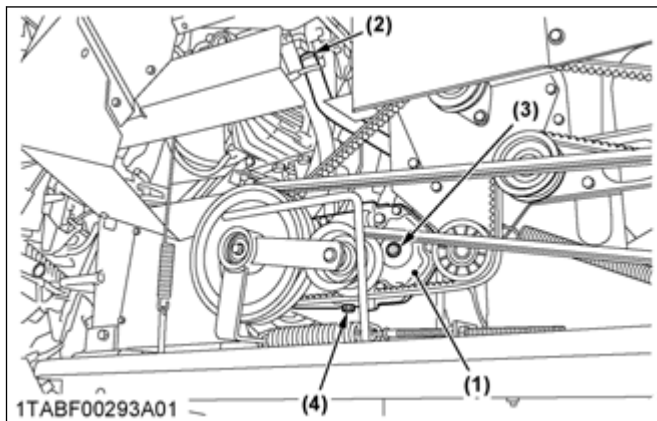
1. 排油プラグを締付けます。
2. 検油口からオイルが出てくるまで給油口から脱こくギヤケースオイルを給油します。

オイルの種類	規定オイル容量
クボタ純オイルスーパー UDT-2	約 1.7 L

3. 給油栓および検油ボルトを締付けます。



A 部拡大図



(1) 脱こくギヤケース (4) 排油プラグ（排油口）
(2) 給油栓（給油口）
(3) 検油ボルト（検油口）

15. HST 入力フランジのオイルの補給および交換のしかた



警告

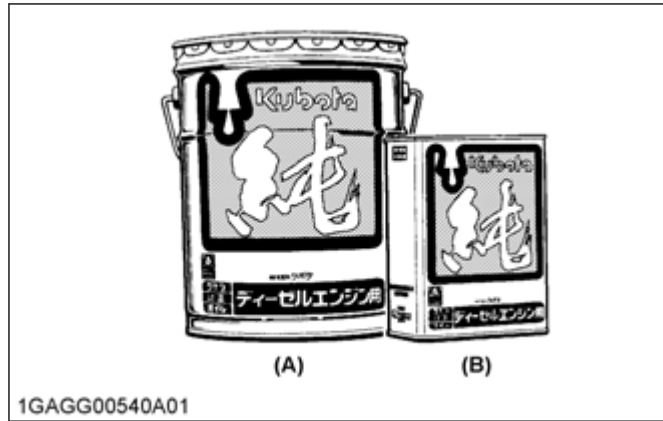
- 刈取部の開閉を行うときは、平たんで安全な場所で、機体を最下降位置にしてエンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてから行ってください。
- 傾斜地では、刈取部の開閉は行わないでください。
- 刈取部を開いた状態で作業を行う場合は、枕木などで刈取部の下降防止の歯止めをしてください。
- 刈取部を開いたときは、閉じないようにストッパを必ず掛けてください。

使用オイル及びグリース

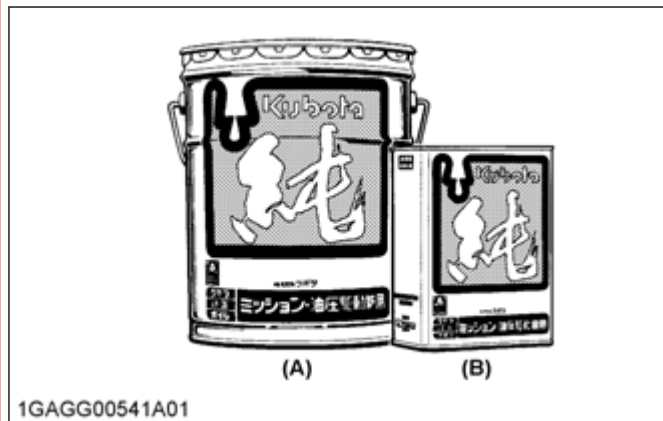
1. クボタ純オイル

オイルは、コンバインの開発研究から生まれたクボタ純オイルを、必ずお使いください。
市販のオイルをご使用になりますと、あなたの大切なコンバインの寿命を縮めることがあります。
お買求めは、購入先へご用命ください。

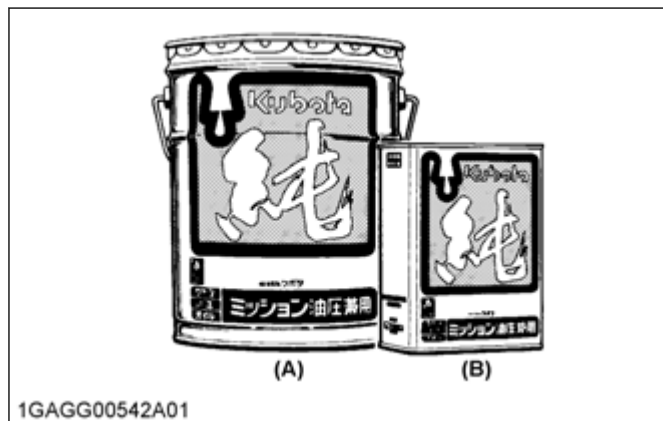
D10W-30 DH-2 (DPF 搭載ディーゼルエンジン用)



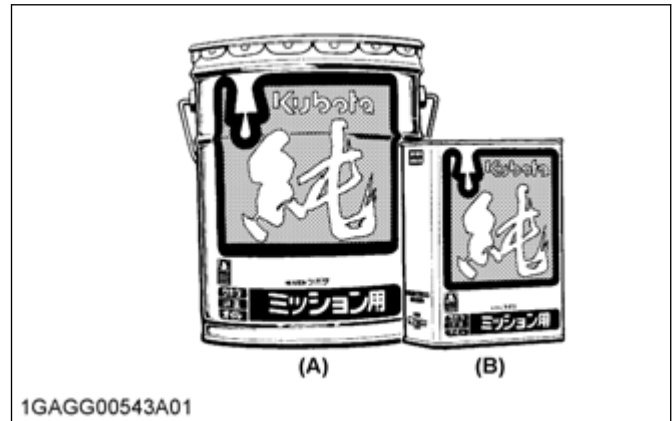
スーパー UDT-2 (油圧駆動、ミッション油圧、及び各ギヤ兼用)



M80B (ミッション油圧兼用)



M90 (一般ミッション及び各ギヤ用)

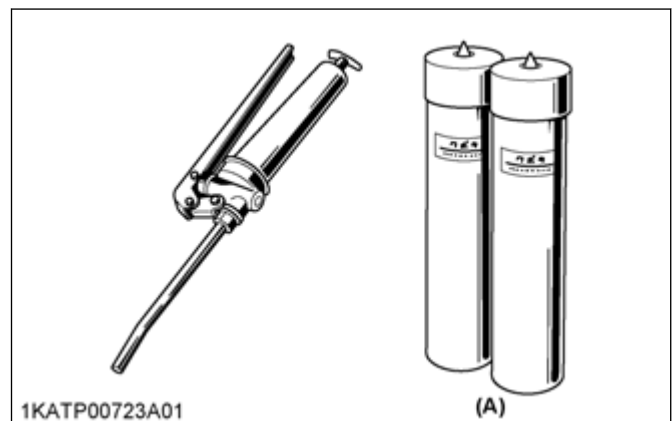


(A) 20 L

(B) 4 L

2. クボタ純グリース

No. 2



(A) 400

メンテナンスリセット機能について

2019.03.19

0. MY農機への反映



本機とMY農機の連携について

本機上で以下の1~4を実施することで、定期交換部品の交換履歴が交換履歴としてMY農機に反映されます。

メンテナンスのお知らせ

定期交換部品の交換タイミングが来た場合、“メンテナンスのお知らせ”に表示されます。

交換履歴

本機液晶モニタで定期交換部品の項目をリセットして頂くとMY農機に履歴として保存されます。

1. 本機液晶モニタ表示内容



キーオン後、設定スイッチを押してください。

2. 作業項目



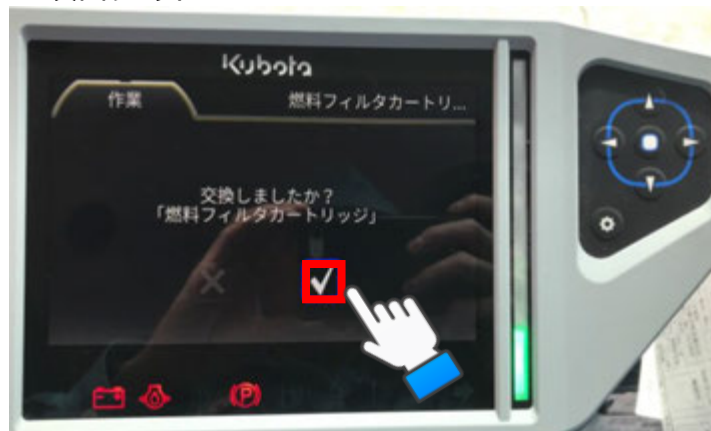
操作スイッチパネルを操作しながら、作業項目の中のメンテナンス時期を選択してください。

3. メンテナンス項目選択



交換した定期交換部品の該当項目を選択してください。

4. 項目リセット



チェックマークを選択してください。